

06 防犯対策の推進

○消費生活相談事業（経済課） 5,091千円（5,611千円） 予算書 P167

[国・県：969千円 一財：4,122千円]

*国・県積算根拠（単位：千円）

[県補：消費者行政活性化基金事業費補助金 969千円]

（目的及び期待する効果）

市民からの消費生活に関する相談業務を行う。また、講座等を開催するなど消費生活の啓発に努め、消費者の自立を目指し、消費者トラブルの未然防止、拡大防止につながることを目的とする。

（内容）

消費生活専門相談員が週5日間（月～金曜日）、市民からの電話もしくは来所に対応し、消費生活全般の相談を行う。より適切な助言や情報提供を行うために相談員の専門性を高めていく。

○防犯対策事業（交通防災課） 11,051千円（4,812千円） 予算書 P88

[一財：11,051千円]

（目的及び期待する効果）

守谷市防犯パトロール隊（関係機関及び各自治会等で編成）や警察官OB任用職員等による市内パトロールを強化し、啓発活動を行うことで、近年増加傾向にある不審者の発見や空き巣、車上荒しなどの犯罪や事故を未然に防ぎ、安全で安心な地域社会づくりにつなげる。

（内容）

- ・地域住民の防犯意識を高め、犯罪者を寄せつけない効果が期待できる防犯パトロール活動を地域内外に積極的にアピールしていくため、装備の充実を図っていく。また、警察や関係団体とともに防犯活動への協力・啓発等を積極的に実施する。
- ・青色防犯パトロール車（市公用車）の貸出しを積極的に行い、各自治会等による地域パトロール活動の指導、育成等の助言を行う。
- ・安全で安心できる地域社会を築くため、引き続き地域安全・暴力追放市民大会を開催する。
- ・警察官OBを防犯指導員として任用し、青色防犯パトロール、住宅の防犯診断、防犯出前講座、その他防犯啓発活動を実施して、市内の刑法犯罪未然防止対策を図る。
- ・守谷駅自由通路の監視カメラを管理し、犯罪の未然防止に活用する。
- ・市内に防犯カメラを設置し、犯罪抑止力を高め安全安心な地域社会づくりを促進する。

○取手地区防犯協会参画事業（交通防災課） 1,000千円（1,000千円） 予算書 P89

[一財：1,000千円]

（目的及び期待する効果）

取手地区防犯協会が行う防犯関係団体への活動支援とともに、管内防犯関係団体と連携を強化することで、近年増加傾向にある犯罪や事故を未然に防ぎ、安全で安心な地域社会づくりにつなげる。

（内容）

地域安全・暴力追放に資する団体等の活動強化と相互の連携を図り、安全で安心できる地域社会を築く。

○街路灯維持管理事業（交通防災課） 55,312千円（52,568千円） 予算書 P89

[一財：55,312千円]

（目的及び期待する効果）

- ・道路照明灯及び防犯灯

守谷駅周辺の宅地開発、大型商業施設の開店に伴い、市内の交通量は益々増加傾向にある中で、交差点や見通しが悪いカーブ等の危険箇所を設置している道路照明灯を良好に維持管理するため修繕を実施し、交通事故防止及び安全確保を図る。また、老朽化による既存の防犯灯修繕工事（器具交換含む）等を行い、夜間犯罪の未然防止を図り、犯罪がない安全なまちづくりを目指す。

- ・公園照明灯及び遊歩道灯

年間を通じ、公園照明灯及び遊歩道灯の修繕など適正な維持管理に努める。

(内容)

- ・光熱水費（街路灯電気代） 45,221 千円
- ・街路灯修繕料（球切れ等） 10,091 千円

○街路灯整備事業（交通防災課） 22,536 千円（2,045 千円） 予算書 P89

[その他：1,000 千円 一財：21,536 千円]

*その他積算根拠（単位：千円）

[交通安全交付金：交通安全対策特別交付金 1,000 千円]

(目的及び期待する効果)

- ・道路照明灯及び防犯灯

交通危険箇所（交差点及びカーブ等）の道路照明灯を新設するとともに、既存施設を改修し適正に管理することにより、交通事故の未然防止と道路交通の円滑化を図る。また、防犯灯を新設・改修し適正に管理することにより、通勤・通学路及び生活用道路の夜間照明を確保し、夜間犯罪の未然防止を図る。

(内容)

- ・東電使用申請手数料等 424 千円
- ・道路照明灯改修工事 1,620 千円
- ・防犯灯設置工事 11,492 千円
- ・公園・遊歩道灯改修工事 9,000 千円